

地域資源活用部門

“めざせ1トン 学校地域をあげての生ごみ回収”小学生でもできる循環型社会

長岡京市立長岡第四小学校 ○校長 太田 伸彦

1. 活動方針・目的

地球温暖化を防止するために小学生でもできる取り組みはないのか
低炭素社会をめざして

2. 活動内容

- (1) 生ごみ処理：家庭の生ごみを学校に持ってきて、コンポストで処理をする取組
(地球温暖化防止)
- (2) グリーンカーテンネットワーク：校区・地域住民に呼びかけ生ごみと交換に苗を提供し、
校区にグリーンカーテンを広める(省エネルギー)
- (3) 雨水タンク：地元ビール会社から廃ビールタンクを寄贈いただき、校区地域コミュニテ
ィ協議会の支援で雨水タンクにリサイクルした。(水の節約)

3. 他の活動団体の参考となる事例

- (1) 生ごみ処理
 - ・活動を広めるために、児童が手作りポスターを作成し、自分の住む地域に呼びかけた。
当初、生ごみはレジ袋やポリ袋に入れて持ってきていたが、袋がゴミになるというこ
とで、専用容器(密封容器)を用意する家庭が増えた。
 - ・生ごみをコンポストに入れるだけでは、発酵するのに時間がかかることがわかり、で
スコップ等で粉碎すると、効率が良い。
- (2) グリーンカーテンネットワーク：成長の様子を学校ホームページに掲載させていただ
き広報する。

4. 今後の課題等

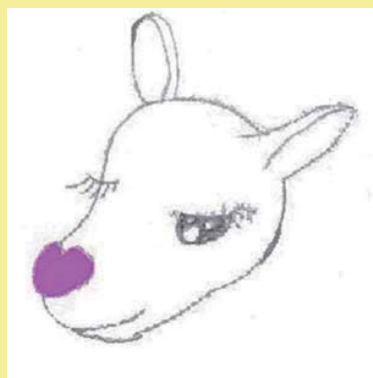
公立の小学校としての使命は、学校を文化と情報の拠点として、地域と双方向に情報発信
をすることだと考えています。

- (1) それぞれの団体の皆様の情報発信の考え方や手段等について
- (2) 世代交代の際の伝承の方法

第10回「関西元気な地域づくり発表会」

めざせ 1トン！！

学校のコンポストで
生ごみを処理する取組



平成27年2月23日

長岡京市立長岡第四小学校



循環型農業

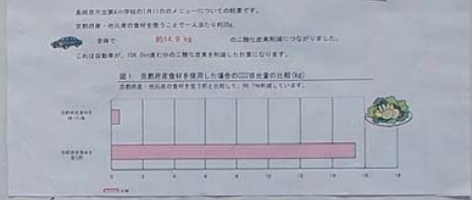
説明

農業に用いられる肥料や農薬、農具などを循環利用する事。畜産や農業家庭などで出るはいき物を肥料にしたりする。



私たちは、循環型農業を知って、良い取り組みだと思った。でも、たいいんな事な体と思った。

自分たちが作った大根を給食で食べると...
長岡京市立第四小学校では
フードマイレージ計算結果

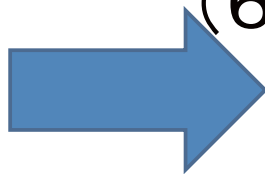


1/11の大根収穫で
14.9 KgのCO₂削減

↓
車で106km走った時
に出る量
京都から姫路まで
行ける距離

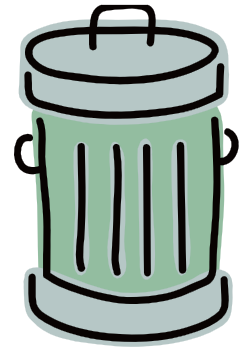
100キログラム
ゴミ

燃やすと
CO₂をたくさん出す
(62キログラム)



CO₂をへらしたい

コンポストの利用



目標は
生ごみ1トンを



CO₂
サッカーボール
62000こ分



コンポストに

いっぱいになった生ごみを

1週間封印しました。



地域の方の協力



**生ごみは、密封容器や
弁当箱に入れて持ってきます。**



**バケツに入れて
計量します。
もちろんバケツの重さは
差し引きします。**

